

学校運営協議会 会議実施報告書

このことについて、「岐阜県立学校における学校運営協議会の設置等に関する規則」第8条第1項に基づき、次のとおり学校運営協議会を開催しましたので、その概要について報告します。

- 1 会議名 飛驒古城特別支援学校 学校運営協議会 (第1回)
- 2 開催日時 令和8年6月10日(水) 10:00~12:00
- 3 開催場所 飛驒古城特別支援学校 図書室
開催にあたり、委員による授業参観を実施した。
- 4 参加者

会 長	中口 守	地域代表 (殿町青龍会会長)
副会長	加藤 慶太	PTA会長
委 員	佐藤 宏明	地域代表 (殿町20区区长)
	青木 陽子	地域生活安心支援センター長
	奈木 桂子	福祉事業所理事長
	山腰 邦彦	古城福祉会事務局長
	井ノ上尚志	(株)アシストン飛驒代表取締役
	平澤 啓介	古川小学校長
学校側	長瀬 朋彦	校長
	松橋 美雪	教頭
	田中 雅人	事務長
	三島 真紀	小・中学部主事
	小澤 耕	高等部主事
	中田 健太	教務主任
- 5 会議の概要 (協議事項)
 - ・委員の委嘱
 - ・会長及び副会長の選出
 - (1) 学校概要と学校運営の基本方針について
 - 意見1：児童生徒も教員も笑顔で生き生きと活動しており、教員が、児童生徒一人一人に合わせた接し方をしている。
 - 意見2：児童生徒の特性や発達段階に合わせて、小さなステップで、将来の社会的自立、職業的自立につながるように、丁寧な指導されている。
 - 意見3：ストレスを感じることも、うまくいかないことにも対応していく力を身につけていけるとよい。失敗の乗り越え方を学ぶことが社会に出たときに必要な力となる。
 - (2) 働き方改革の取組みについて
 - 意見1：教員が心身共に健康でいられることが、児童生徒にとって安心して通える学校となる。今までやってきたことを取捨選択し、業務改善を行っていくとよい。
 - 意見2：適切な業務分担により、全体としての業務の効率化を図り、無理なく働き方改革を

進めるとよい。

意見 3 : 職員が「助けてくれ」とお互いに言える職場であることが大切である。

(3) 今年度のテーマ「つながる！飛驒吉城」について

意見 1 : 今後も地域として協力し、ますます交流を深めていきたい。

意見 2 : 将来の自立した生活や就労に結び付くような活動を仕組んでいくとよい。

意見 3 : 作業療法士との連携も深めていけるとよい。

意見 4 : 児童生徒本人をどう変えるかではなく、家庭も含め、環境をどう整えるかを考えることが大切である。学校と福祉がつながりながら、一緒にその子の人生を見ていくことが大切である。

意見 5 : 同じ地域の学校として、子ども同士の関わりを大切にしていきたい。今後も、図書館交流やプールの活用など、日常的にできる活動でつながっていきたい。

(4) 高等部作業製品の価格について

意見 1 : 原価割れとならないよう価格設定するとよい。

6 会議のまとめ

- ・第 1 回学校運営協議会では、全委員より今年度の学校運営の基本方針と働き方改革の取組みについて承認が得られた。
- ・高等部作業製品の価格について、全委員より適正価格であると承認が得られた。
- ・今年度のテーマについて、今回得られた意見を参考にし、地域や関係機関と連携し、実践を進める。また、その結果を第 2 回、第 3 回の学校運営協議会で報告する。